

(有)萩原チキンセンター(製造業(食品加工)、販売・下呂市)

業務を細分化することで、効率的で働きやすい職場に。結果、業績もアップ

- ・ 業務を細分化することで子育て中の女性も戦力に
- ・ ローテーション制で、不在時にお互いカバーできる体制
- ・ 会社の業務を分かりやすく説明し、社員全員で会社の方向性を共有

看板商品の「萩屋ケイちゃん」をはじめ、5億円もの売り上げを誇る萩原チキンセンター。順調に見える同社も、現在の形にたどり着くまでには、たくさんの壁を乗り越えてきました。

営業マンの業務をできる限り細分化

創業当初は、飛騨地域を中心に「萩屋ケイちゃん」の他、総菜などを販売。ところが飛騨地域でもスーパーマーケットの進出に伴い、主たる販売先であった地域の小売店の廃業が進み、当時営業職であった日下部讓社長は会社存続の危機を感じます。そこで思い立ったのが、愛知県を中心とした都市部への販路拡大でした。

一方、当時は、営業マンが商品の積み込み、運転、片付け、伝票整理などを全で行い、一軒ずつ顧客に御用聞きをしながら販売を行うスタイルが主流でした。本社のある下呂市萩原町から名古屋市まで、営業車での一日の走行時間は7時間にも及び、販路拡大に割く時間がありませんでした。

役割分担のない非効率な状況に手詰まりを感じるなか考えついたのが、業務の切り分けです。それまで営業マンが一人で行っていた業務を出来る限り細分化しました。例えば、商品の運搬は運送業者に委託し、伝票作成は事務の従業員と協力して自社システムを開発。これにより、営業マンはより多くの時間を営業、販路拡大に費やすことが可能になりました。



同社のブランドイメージをPRする営業車

店舗回りの時間帯は子育て中の女性が働きやすい時間帯

もう一つ、営業マンには重要な仕事がありました。販路拡大を目的とした新規店舗への営業活動とは別に行う、既に取り先となっている顧客の店舗回りです。商品発注の多くは各店舗から直接行われるため、本社との契約後もこの店舗回り

が売り上げを伸ばすカギとなります。また、商品の売れ筋を把握している店舗従業員の「現場の声」を聴くこともできます。一方、本社と違って店舗は数が多く、営業マンの負担になっていました。この店舗回りは、朝の开店準備を終えた10時頃から早朝出勤の店舗従業員が帰宅する15時頃までに赴くことが基本です。この時間帯は、子どもを学校に送り出し、帰宅するまでの子育て中の女性が最も働きやすい時間帯とも重なります。

2名募集の「ラウンダー」に67名が応募

ここに着目した日下部社長は、店舗回りを専門に行う「ラウンダー」と呼ばれる従業員の導入を決め、勤務時間を10時～15時として募集を開始。すると、2名の採用枠に対し、応募が殺到。約2週間の募集期間で、30代～40代の子育て中の女性を中心に67名もの応募がありました。2名のラウンダーは、営業先近郊に在住の子育て中の女性が担い、本社からの移動がなくなった分、店舗回りは従来よりもはるかに効率化され、より多くの店舗を回ることが出来るようになりました。

ラウンダーの役目は御用聞きだけにはとどまりません。陳列や販促用のポップ（広告）設置の提案も重要な役目。販促用ポップの作成はラウンダーとは別の子育て中の女性従業員が在宅勤務で担当。ここでも子育て中の女性従業員の活躍が光ります。

主力商品の売り上げは16倍に

「業務を切り分けて明確に整理整頓することが大切」と日下部社長。切り分けた業務も、社内で一人しかできないのでは急な欠勤などに対応できず、働きやすい職場とは言えません。そこで、ローテーションで業務を行い、いつでも誰かがカバーできる体制をとっています。従業員が働きやすい環境・



「萩屋ケイちゃん」を製造する工場の様子

時間帯に働いてもらうことで、結果的に販路は拡大し、同社の売り上げは2000年代当初と比較して約2倍に、主力商品の「萩屋ケイちゃん」の売り上げに限ると約16倍にもなりました。

社員全員で会社の方向性を共有

日下部社長が従業員に働いてもらう上で、大切にしているもう一つのこと、それは、「全ての従業員に会社の業務を知ってもらい、理解してもらうこと」です。

かつては、業務の切り分けや効率化を進める中で、社長の思いが伝わらず、従業員と衝突することもありました。その経験から、全ての従業員に会社の方針をとにかくかみ砕いて分かりやすく、明確に伝えることに。



社員一人一人が役割をもって活躍

年1回の経営計画発表会では、部門ごとの計画をお互いが分かりやすいように報告し合い、会社の方針、方向性を社員全員で共有することで、同じ方向に向かって進んで行くことができます。

【従業員の声】

前職は育休復帰の際、勤務条件の変更が出来ず、子育てとの両立は困難と判断し退職しました。再就職活動のなか、萩原チキンセンターの求人を見つけ「ライフワークに合わせた時間調整が可能」ということで入社しました。育休明けの中途採用ということで不安がありましたが、入社後もいろいろと相談に乗っていただき、子育てとの両立も出来たので、とても感謝しています。

【(有) 萩原チキンセンター】 (<https://k-chan.co.jp/>)

所在地：下呂市萩原町古関1014-1

従業員：40名（うち役員3名、正社員25名、パート12名）

設 立：昭和44年

（令和7年5月末時点）